

データロガー 2000 J 専用アレスタ端子台

概要

アレスタ端子台はデータロガー 2000 J に外部から不用意に進入する雷などの外部電気をシャットアウトし、データロガーを守ります。下記取付方法を守り、正しく取り付けてください。アレスタ機能は万能ではありません。雷の直撃や高周波成分など、ブロックしきれない外部電気もありますのでご注意ください。

取付方法

まずご自身の静電気を除去するため、風況観測タワーのベース近くの設置線に触れてください。シェルターボックスを開き、データロガーのグラウンドスタッドに留めてあるナットを緩めて従来の端子台と、グラウンドスタッドにはまっているすべての部品を外してください。

接地線を、これから取り付けるアレスタ端子台のグラウンドラグと、データロガーのグラウンドスタッドに触れさせ、十分に静電気を除去してください。下図の通り平ワッシャー × 2、ベルワッシャー × 1、ナット × 1 の順でグラウンドスタッドに入れて締めてください。次に被覆接地線を入れ、アレスタ端子台を 37 ピンコネクタに差し込むようにゆっくり入れてください。最後にベルワッシャーとナットを入れ、ナットを締めて被覆接地線とアレスタ端子台をしっかりと固定してください。

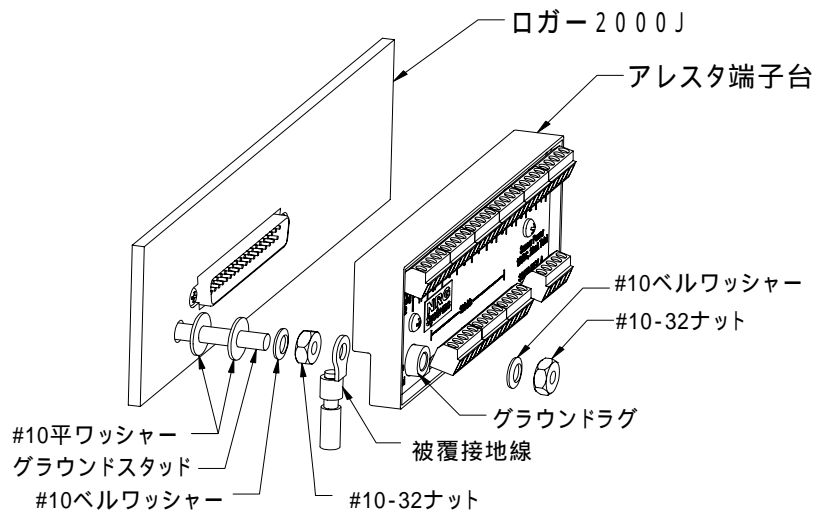


図 1

センサーからの信号線を、間違えないようにこれまでの端子台からアレスタ端子台に移し替えてください。正しく移し替えたかどうか、データロガーの各チャンネル表示値(観測値)を読んで確かめてください。アレスタ端子台のネジ部にはワセリンなどを塗布し、仕上げてください。

2006年1月27日